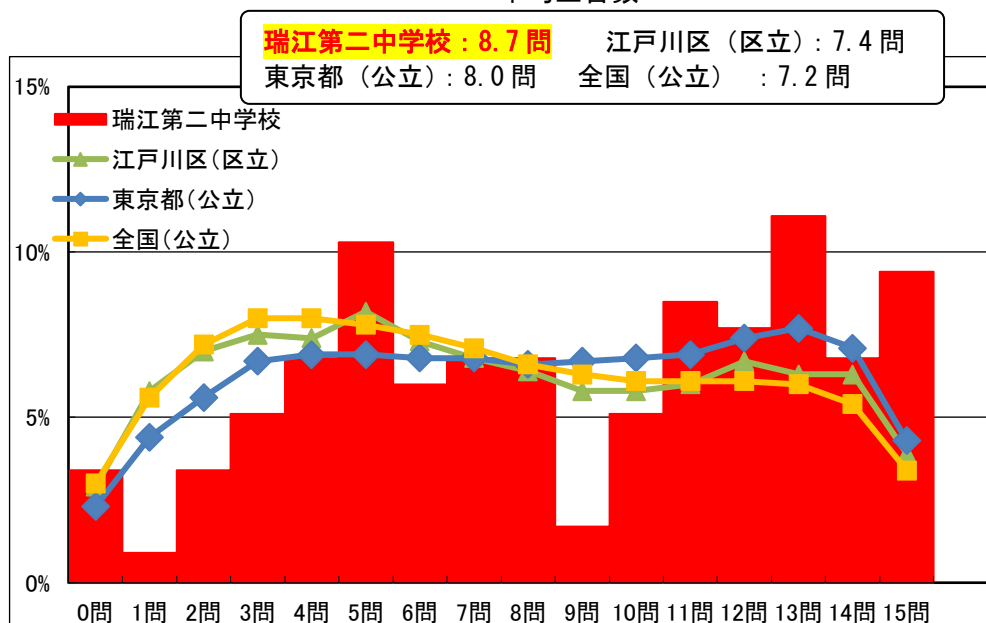


# 令和7年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【数学】 瑞江第二中学校

## 正 答 数 分 布

平均正答数



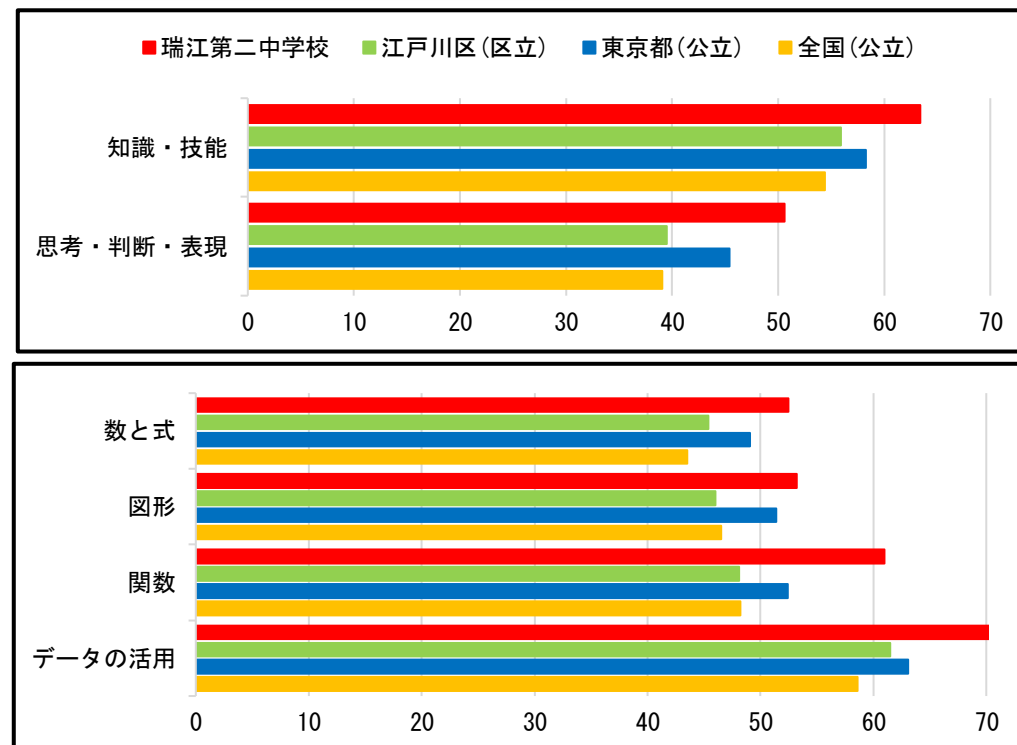
## <四分位における割合(都全体の四分位による)>

上位 ← → 下位

数 学	A 層 12~15 問	B 層 8~11 問	C 層 4~7 問	D 層 0~3 問
瑞江第二中学校	35.0	22.1	29.9	12.8
江戸川区 (区立)	23.2	24.0	29.6	23.2
東京都 (公立)	26.5	27.0	27.4	19.0
全国 (公立)	20.9	25.1	30.4	23.8

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の 1/4、2/4、3/4 にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒を A、B、C、D 層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都 (公立) のデータを基に定めている。

## 「領域別」の結果



## 【平均正答率の差】

瑞江第二中学校	58%
江戸川区 (区立)	49%
東京都 (公立)	53%
全国 (公立)	48.3%
都との差	5ポイント

%

## 【分析結果と授業改善に向けて】

・都の平均と比べて、「知識・技能」は 5.1 ポイント、「思考・判断・表現」5.2 ポイント上回っている。

### <授業改善>

各単元の基礎の定着を目指して授業展開していく。学びあいや ICT を用いた授業を行い、理解できる機会を増やしていく必要がある。